

活動報告

団体名	公益財団法人共生地域創造財団
活動名	熊本地震被災者のための民間支援ネットワーク活動
活動期間	2016年4月～2017年3月
活動の成果	<p>【車中泊避難者への支援】</p> <p>熊本地震の最大の特徴であった「車中泊避難者」への支援として、夜間の巡回活動を開始したことで昼間にアクセスできない車中泊避難者にサポートを行うことができた。並行して車中泊避難の実態アンケート調査を行い、今後の車中泊支援を考える資料として行政への提言を団体HP上で公開した。</p> <p>【第1回つながる広場】</p> <p>みなし仮設に居住する被災者の方々向けのイベント「つながる広場」を開催した。約400名の参加者に対し、約150名のボランティアが参加し、炊き出しや物資配布のほか、法律家などによる相談ブースを設けるなどした。今後、従前のコミュニティを無くさないため、そして新たなコミュニティづくりのためにイベントを継続させたい。</p> <p>【ネットワークグループ】</p> <p>当初8団体が集まったのスタートから、ボランティア団体などを中心に現在87団体が加盟するネットワークを構築した。つながる広場のみならず、様々なイベントでの協働やニーズのマッチングにも注力し、加盟団体及びよか隊ネットの活動の幅を広げている。今後の復興支援へつながる活動をネットワークから生むために、協働や連携の支援スタイルを確立させたい。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度は、ボラサポ九州を通しての支援に心から感謝申し上げます。</p> <p>熊本地震は東日本大震災などと比較して、風化が早く、熊本では活動する団体やボランティアの数は減り続けているように感じます。しかし、生活再建に年単位の時間がかかる被災者の方々も数多く、ニーズが無いという状況からは程遠い状況です。こうした中、中長期の活動に利用できるボラサポ九州のような助成金は貴重であり、継続的な支援活動へつながっています。</p> <p>今後も被災者の方々に寄り添った支援を行っていくため、どうぞよろしくお願いいたします。</p>

(活動のようす)

